

2020（令和2）年度（速報版）
知床半島ヒグマ管理計画の目標に関する状況

○知床半島ヒグマ管理計画の目標の達成状況（2020年10月末時点）

← 計画期間（2017（H29）～2021（R3）年度） →

本計画の目標	目標値	結果						主な対策
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	
①計画期間内における、斜里町、羅臼町及び標津町内でのメスヒグマの人為的な死亡総数の目安を75頭以下とする。（注4）	75頭	10頭	21頭	15頭	14頭	3頭	【平時】 誘引物の除去、侵入防止柵・電気柵の整備、居住地周辺の草刈り 【方策2、6、32、35、37】 【出沒時】 威嚇追い払い【方策7】	
	(累計)		21頭(28%)	36頭(48%)	50頭(67%)	53頭(71%)		
②計画期間内における、ヒグマによる人身事故をゼロとする（注4）。	0件	0件	1件 (注10)	0件	1件 (注10)	0件	【平時】 侵入防止柵・電気柵の整備、居住地周辺の草刈り 【方策2、6、32、35、37】 【出沒時】 出沒情報の提供、問題個体の捕獲【方策1、8】	
	(累計)			1件	2件	2件		
③利用者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を半減させる。	12件	13件	4件	10件	17件	16件	【平時】 利用者への普及啓発【方策9、10、14、23、24、S19】 【出沒時】 -	
	(累計)			14件	31件	47件		
④地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を半減させる。	10件	1件	10件	13件	9件	2件	【平時】 地域住民への普及啓発（情報交換会、学校での普及啓発等） 【方策2、6、32、35、37】 【出沒時】 -	
	(累計)			23件	32件	34件		
⑤市街地（ゾーン4）への出沒件数を半減させる。	210件	60件	96件	84件	136件	39件	【平時】 侵入防止柵・電気柵の整備、居住地周辺の草刈り、誘引物の除去 【方策2、6、32、35、37】 【出沒時】 威嚇追い払い、問題個体の捕獲【方策7、8】	
	(累計)			180件	316件	355件		
⑥斜里町における農業被害額及び被害面積を3割削減する。（注5、6）	4,652千円 523 a (5年平均)	5,524千円 609 a	8,727千円 852a	5,180千円 557 a	6,127千円 561a	未集計	【平時】 電気柵の整備、農業者向け普及啓発【方策6、32】 【出沒時】 問題個体の捕獲【方策8】	
⑦漁業活動（特に羅臼側の昆布番屋等）に関する危険事例の発生件数を半減させる。	2件	0件	3件	4件	1件	5件	【平時】 漁業者向け普及啓発【方策32】 【出沒時】 威嚇追い払い、問題個体の捕獲【方策7、8】	
	(累計)			7件	8件	13件		
⑧ヒグマによる人身事故を引き起こさないための知識、ヒグマに負の影響を与えずにふるまうための知識を地域住民や公園利用者に現状以上に浸透させる。	-	-	-	-	-	-	【平時】 普及啓発【方策9、12、14、23、32、S19】 【出沒時】 -	

（注4）当該地域におけるヒグマの個体数に係る新たな知見が示されるなど状況に変化があった際には、その結果を踏まえ科学的な見地から人為的な死亡総数の目安について再考する。

（注5）本目標は、斜里町鳥獣被害防止計画（H27-29）より引用したもの。なおH30-R2以降の防止計画では目標を3割から1割減に下方修正している。

（注6）標津町や羅臼町においてもデントコーンや牧草ロール等に農業被害が発生しているが、被害の発生頻度や被害額は斜里町と比較して少なく、被害として計上する状況には至っていない。したがって、目標には掲げずに被害状況を注視することとする。

（注7）③～⑧において基準とする年度及びそれらの達成状況を測るための年度については、それぞれの値の変動状況等を踏まえつつ、適切な設定を行う。

（注8）平成28年度知床半島ヒグマ保護管理方針検討会議 資料1-2から算出。

（注9）平成28年度知床半島ヒグマ保護管理方針検討会議 資料1-3、ヒグマ対応件数のゾーン別・行動段階別集計から算出。

（注10）ハンターによる人身事故。

知床半島ヒグマ管理計画目標である①～⑧のうち、数値目標が設定されていない⑧以外について2020（令和2）年度4月から10月の期間における状況（速報版）を以下に記した。

①計画期間内における、斜里町、羅臼町及び標津町内でのメスヒグマの人為的な死亡総数の目安を75頭以下とする

・3町におけるヒグマの人為的死亡個体の内訳は、メスが3頭（斜里町2頭、標津町1頭）、オスが11頭（斜里町4頭、羅臼町5頭、標津町2頭）であった（表1）。

表1. ヒグマ人為的死亡個体の内訳（年齢別・町別・性別）

年齢/町・性別	メス			オス		
	斜里町	羅臼町	標津町	斜里町	羅臼町	標津町
0歳	1	0	0	0	0	0
1歳	0	0	0	1	0	0
2歳	0	0	1	0	2	0
3歳以上	1	0	0	3	3	2
小計	2	0	1	4	5	2
合計	3			11		

②計画期間内における、ヒグマによる人身事故をゼロにする

・ヒグマによる人身事故は発生しなかった。

③利用者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を半減させる

・利用者の問題行動に起因する危険事例は斜里町で14件、羅臼町で2件発生した（表2）。標津町では発生しなかった。

表2. 利用者の問題行動に起因する危険事例の詳細

No.	町	日付	状況概要
1	斜里	4月16日	幌別国道沿いに1歳2頭連れの親子グマが出没し、利用者が20mほどの距離から撮影。
2	斜里	4月18日	プユニ岬付近の林内で、ゴミ袋入りのクマ糞が発見された。

No.	町	日付	状況概要
3	斜里	5月12日	1歳2頭連れ親子グマが幌別国道沿いに出没。カメラマンが降車して2時間程撮影を続けていた。長時間にわたってヒグマの進路を妨害した。
4	斜里	5月24日	0歳1頭連れ親子グマが幌別道道沿いに出没して渋滞が発生。降車し、至近距離から撮影する利用者がいたとのこと。
5	斜里	6月16日	1歳2頭連れの親子グマが幌別国道沿いに出没。カメラマンが降車して近距離から撮影した。
6	斜里	6月30日	岩尾別道道沿いに単独のヒグマが出没。降車して接近する利用者がいたため、注意喚起を行った。一度立ち去ったが、再び現場に現れてヒグマの近くで車両を停車させた。
7	斜里	7月23日	道道知床公園線93号線沿いにヒグマが出没し、渋滞が発生した。2名ほどが降車して、10mまで接近していたとのこと。
8	斜里	7月25日	道道知床公園線93号線の知床五湖付近で単独のヒグマが出没し、渋滞・降車が発生。降車した1人が注意を受けても車に戻らず。
9	斜里	7月25日	道道知床公園線93号知床五湖付近の道路脇に単独のヒグマが出没し、渋滞・降車が発生。ヒグマとの距離は5mほど。
10	斜里	7月31日	釣り人が釣った魚をヒグマ（ID：19MS01）に奪われる。この釣り人は幌別の釣りを守る会の会員からヒグマが出没しているため釣りをやめるよう注意を受けたにも関わらず、釣りを続けた。
11	斜里	8月5日	1歳2頭連れ親子が出没し、渋滞が発生。バイク1台が距離10mほどから観察。他の観光客からの注意喚起も効果なく、観察を続けた。
12	斜里	8月21日	単独ヒグマが三段の滝河口に出没。釣り人が釣果およびゴミを残置して逃げた。
13	斜里	8月31日	0歳2頭連れ親子が知床横断道路に出没。利用者が窓からお菓子をばらまき、それをコグマが食べていたとのこと。
14	斜里	9月7日	岩尾別橋周辺に出没した単独ヒグマの撮影のために、カメラマン1名が意図的に接近。注意を聞かず、距離15mほどまでクマがやってくる。
15	羅臼	7月14日	知床横断道路に0歳2頭連れ親子グマが出没。一部の利用者がヒグマの進行方向を車両で塞いでいたとのこと。
16	羅臼	7月15日	知床横断道路に0歳2頭連れ親子グマが出没。ヒグマとの距離8mの位置で降車・撮影していたとのこと。

④地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例を半減させる

- ・地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例は羅臼町で2件発生した(表3)。斜里町および標津町では発生しなかった。

表3. 地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例の詳細

No.	町	日付	状況概要
1	羅臼	7月1日	昆布浜で、長時間道路脇に滞留するヒグマを有害捕獲した。捕獲地点付近の消波ブロック上で住民が捨てたと思われる大量の生ごみ(魚)を確認した。
2	羅臼	9月8日	春日町の民家裏の山側斜面でヒグマが目撃された。目撃地点でヒグマがかじったトウモロコシの芯1本を確認した。このトウモロコシは住民が捨てたものであった。

⑤市街地(ゾーン4)への出沒件数を半減させる

- ・市街地(ゾーン4)でのヒグマの出沒件数は39件(斜里町5件、羅臼町32件、標津2件)であった。

■斜里町

5件

斜里町市街地で1件、ウトロ市街地ウトロ西海岸線沿いで4件あった。

■羅臼町

32件

住宅裏山斜面等でヒグマの出沒が32件あった。

■標津町

2件

住宅地付近でヒグマの出沒が2件あった。

⑥斜里町における農業被害額及び被害面積を3割削減する

・2020年の斜里町における農作物被害は未集計。電気柵の導入を行っている農地（ウトロ高原等）では被害が軽減している。ハンターによる農地のパトロール時間は昨年度より増加。農地での駆除頭数は5頭であり、2019年（24頭）より19頭少なかった。

<参考>

- ・羅臼町については農業被害なし。
- ・標津町については牧草ロールの被害が昨年度に引き続き発生した。被害額の集計は行われていない。なお、昨年度発生したデントコーンの被害は無かった。

⑦漁業活動（特に羅臼側の昆布番屋等）に関する危険事例の発生件数を半減させる

- ・漁業活動に関する危険事例は斜里町で5件発生した（表4）。

表4. 漁業活動に関する危険事例の詳細

No.	町	日付	状況概要
1	斜里	8月4日	ウトロ東の漁業者の作業場近くにヒグマが出没。建物脇に干してあった雨具に触り、地面に落とした。
2	斜里	8月7日	幌別川河口にヒグマ（19MS01）が出没。漁業者が作業を中断し、避難。ヒグマは漁業者を見ても逃げず、作業場をうろうろしていた。
3	斜里	8月7日	ウトロ東において、単独ヒグマ（19MS01）が漁業者の目の前に出没。係留している船外機にヒグマが乗り込んだ。漁業者が声がけしても逃げなかった。
4	斜里	8月8日	幌別橋下の漁業者の作業場に単独ヒグマ（19MS01）が出没。陸に上げられた網や無人の車両の窓に触れた。
5	斜里	8月15日	ウトロ西亀岩付近にある番屋の窓にヒグマの足跡がついているのを番屋関係者が発見した。

ヒグマに関する危険事例・注意事例の定義

1. 危険事例について

【危険事例の定義】

ヒグマによる人身事故につながる可能性の高い事例、経済被害（農業被害を除く）を伴う事例を危険事例とする。

- 人身事故は危険事例に含めない。
- ヒグマを見物するための渋滞（クマ渋滞）に関する交通事故は含めない。
- 軋轢の順位は、人身事故＞危険事例＞注意事例。注意事例については後述。危険事例や注意事例はヒヤリハット事例を想定する。

【危険事例の分類】

危険事例は以下の3種に分類される。

種類	内容
A	人の問題行動に起因する危険事例
B	人にもヒグマにも非がない危険事例（シチュエーションが危険）
C	ヒグマの問題行動による危険事例

- 「人の問題行動」は知床半島ヒグマ管理計画に記載された、目標③利用者・地域住民による問題行動のうち、「悪質」または「非常に悪質」と位置付けられた行動（餌となるものの管理の不徹底、ヒグマへの接近（ヒグマとの距離の目安は 30m 程度）や追い回し、餌付け等）とする。また、「不適切」と位置付けられた行動であっても、注意を受けているにも拘わらず対応を怠るといった行動も含む。
- 「ヒグマの問題行動」は、行動段階2と3にあたる行動とする。
- そのほかに危険事例（A～C）に繋がる可能性の高い事例（カテゴリーD、注意事例）が存在する。

【危険事例の具体例】

種類	具体例
A	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が車内からヒグマに餌付けをした ・カメラマン9名が車外で、至近距離からヒグマの撮影をしていた ・釣り人が放置していた荷物をヒグマに荒らされた ・家畜や飼育されていたヤギ・犬がヒグマによって食害された（注意喚起後対策を怠ったことで発生） ・夜間、軒先に干しておいた魚をヒグマに奪われた
B	<ul style="list-style-type: none"> ・知床峠を走行中のサイクリストがヒグマに追いかけられた ・森を散策中にヒグマと至近距離で遭遇し、ブラフチャージされた ・停車中の有人車両にヒグマが2～3mにまで接近した ・登山者にヒグマが5mにまで走り寄ってきた ・牧場主が牧場入口でヒグマ親子連れと遭遇。ヒグマは人を気にせず向かってきた ・住宅地（ゾーン4）にヒグマが侵入、人とヒグマが近距離で遭遇した。 ・誘引物（シカや海獣類の死体など）に餌付いた状態のヒグマに人が近距離で遭遇した <p>【出会い頭の遭遇、ゾーン4で人とヒグマが近距離で遭遇など】</p>
C	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜や飼育されていたヤギ・犬がヒグマによって食害された（初回または行動がエスカレート） ・遊歩道を散策中、利用者がヒグマから追跡された ・漁業番屋のトイレをヒグマが破壊した

2. 注意事例について

【注意事例の定義】

その時点では即危険と言えないものの、状況が進行すれば危険事例に繋がりがねない事例を注意事例とする。

【注意事例の具体例】

種類	具体例
D	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地（ゾーン4）にヒグマが侵入するが、人との遭遇がない（夜間に侵入して出ていった場合など） ・住宅地の側溝に大量の魚の残滓が投棄された（ヒグマは餌付いていない、もしくはヒグマは夜間のみの出没で人との遭遇がない）

3. 2020年の危険事例発生状況（2020年10月31日時点）

2020年において発生した危険事例は40件、注意事例は96件であった(10月末時点)。

表5. 危険事例の分類別及び注意事例の発生件数

種類	定義	発生件数			
		斜里町	羅臼町	標津町	合計
危険事例A	人の問題行動に起因する事例	14件	4件	0件	18件
危険事例B	人にもクマにも非がない事例	8件	3件	0件	11件
危険事例C	ヒグマの問題行動に起因する事例	10件	1件	0件	11件
注意事例D	即危険ではないが、状況が進行すると危険に繋がる事例	33件	61件	2件	96件

※危険事例A＝管理目標③④

表6. 危険事例B（人にもヒグマにも非がない）に該当する事例

No.	日付	町	場所	詳細
1	6月25日	斜里	オシンコシン	単独のヒグマが出没。利用者がフェンスを挟んで距離1mの至近距離でヒグマと遭遇。
2	6月30日	斜里	知床五湖駐車場	知床五湖チケットハウス付近に単独ヒグマ2頭が出没。
3	7月12日	斜里	フレペの滝遊歩道	0歳1頭連れ親子グマが出没。子グマが木に登り、母グマが木の下をうろうろしている状況であったが、利用者3組はヒグマに気付かずに遊歩道を進み、母グマにブラフチャージをされていたとのこと。
4	7月26日	斜里	道道知床公園線93号線	単独のヒグマが出没し、渋滞が発生した。渋滞を避けようとしたバイクが車両の陰から出てきたヒグマと鉢合わせ、ブラフチャージをされる。
5	8月2日	斜里	国道334号知床自然センター付近	1歳2頭連れ親子が出没。コグマ2頭が道路をうろついており、割って進もうとした車両がバンパーの辺りを母グマにチャージされる。バンパーに傷や破損は無かった。利用者が意図的にコグマへ接近したかどうかは不明。
6	8月22日	斜里	羅臼岳登山道	極楽平付近において単独のヒグマが出没。登山者が距離10mの近距離でヒグマと遭遇し、ブラフチャージをされる。その後、ヒグマは登山者にゆっくりと近づいてきたとのこと。
7	8月23日	斜里	羅臼岳登山道	弥三吉水付近で、利用者が距離1mほどでヒグマと遭遇。

No.	日付	町	場所	詳細
8	9月30日	斜里	豊倉地区	みどり工房付近に単独亜成獣サイズのヒグマが出没。
9	5月22日	羅臼	知床横断道路	知床峠駐車場付近にヒグマが出没。付近には徒歩の利用者がいた。
10	10月10日	羅臼	湯ノ沢町	住宅地の空き地で親子グマが人を追いかけた。
11	10月12日	羅臼	知床横断道路	ヒグマが距離5mの位置までバイクに接近してきた。

表7. 危険事例C（ヒグマの問題行動）に該当する事例

No.	日付	町	場所	詳細
1	5月12日	斜里	カムイワッカ	単独のヒグマが出没。駐車中（人が乗車しており、ラジオが流れている状態）の車両のボンネットに手をかけて、立ち上がっていたとのこと。
2	6月16日	斜里	イダシュベツ橋	単独のヒグマが出没。ヒグマに気付いた利用者が、車両を停車させて、立ち去るのを待っていたが、ヒグマは徐々に接近してきた。
3	7月31日	斜里	幌別川河口	単独のヒグマ（ID：19MS01）が釣り人に接近。釣り人がクマスプレーを噴射したが、10mほど距離があったため、恐らく当たっていないとのこと。その後、ヒグマが再出没し、釣り人の釣った魚を奪われた。
4	8月2日	斜里	幌別駐車帯	釣り人が釣った魚をヒグマに奪われた件を受けて、幌別川河口を監視していた幌別の釣りを守る会のメンバーが単独のヒグマ（ID：19MS01）に接近される。釣りの会のメンバーは車内に避難したが、しばらく車両の後方1m付近でヒグマが滞留していた。
5	8月4日	斜里	ウトロ東	漁業者の作業場近くにヒグマ（ID：19MS01?）が出没。建物脇に干してあった雨具を触り、地面に落とした。
6	8月7日	斜里	幌別川河口	単独のヒグマ（19MS01）が出没。漁業者が作業を中断し、避難。ヒグマは漁業者を見ても逃げることなく、作業場周辺をうろうろしていた。

No.	日付	町	場所	詳細
7	8月7日	斜里	ウトロ東	単独のヒグマ（19MS01）が出没。漁業者が陸で作業しているにもかかわらず、目の前に姿を見せた。漁業者の一人が声がけして追い払おうとするが、反応が無く、係留している船外機に乗り込むなどの行動をした。
8	8月8日	斜里	幌別川河口	漁業者の作業場に単独のヒグマ（19MS01）が出没。陸に上げられた網や無人車両の窓に触れるなどの行動をした。
9	8月15日	斜里	ウトロ西	番屋関係者が番屋の窓にヒグマの足跡がついているのを発見した。
10	8月18日	斜里	硫黄山登山道	新噴火口付近において、登山者のザックがヒグマに物色された。登山者が一時的にザックを残置してその場を離れた際に発生したとのこと。とられた物は無かった。
11	4月12日	羅臼	知床岬	赤岩付近において、利用者がヒグマに追跡された。距離3mの位置まで接近してきたため、クマスプレーを噴射した。当該ヒグマは、行動段階3と判断された。

表8. 注意事例Dに該当する事例（一部抜粋）

No.	日付	町	場所	詳細
1	5月5日	斜里	幌別駐車帯	1歳2頭連れ親子グマが出没。不法投棄されたビニール袋をヒグマが口にくわえた。ビニール袋の中身は泥水だけであった。
2	7月4日	斜里	知床横断道路	1歳2頭連れ親子グマが出没。母グマが車両にブラフチャージをした。
3	7月22日	斜里	知床横断道路	1歳2頭連れ親子グマが出没。通り抜けようとした車両を母グマがブラフチャージをした。
4	7月28日	斜里	道道知床公園線 93号線	1歳2頭連れ親子グマが出没。通行中の車両と鉢合わせし、母グマがブラフチャージをした。
5	7月30日	斜里	ウトロ西	海岸線沿いにヒグマが出没。
6	8月1日	斜里	ウトロ西	チャシコツ崎にヒグマが出没
7	8月2日	斜里	ウトロ西	海岸線沿いにヒグマが出没。
8	8月22日	斜里	知床横断道路	チャーハンやバナナの皮等の食品ゴミが不法投棄されていた。ヒグマなどの野生動物に食べられた痕跡は無かった。

No.	日付	町	場所	詳細
9	5月23日	羅臼	知床横断道路	0歳2頭連れ親子グマが出没。母グマが距離10mまで車に接近してきたとのこと。
10	5月31日	羅臼	海岸町	住宅地にヒグマが出没。
11	6月11日	羅臼	八木浜町	小学校裏の山斜面にヒグマが出没。
12	6月29日	羅臼	岬町	住宅地のパークゴルフ場内で、ヒグマに捕食されたエゾシカの死体を発見。
13	7月15日	羅臼	知床横断道路	0歳2頭連れ親子グマが出没。通り抜けようとした車両を母グマがブラフチャージをした。
14	7月20日	羅臼	湯ノ沢町	公共温泉施設脇にヒグマが出没し、エゾシカを捕食した。
15	7月27日	羅臼	礼文町	エゾシカを追いかけて住宅地にヒグマが出没。
16	8月1日	羅臼	岬町	民家裏にヒグマが出没。
17	8月6日	羅臼	春日町	民家前で新鮮なヒグマ糞を発見。付近の藪で多数のヒグマの痕跡も確認した。
18	8月15日	羅臼	知床横断道路	0歳2頭連れ親子グマが出没。通り抜けようとした車両を母グマがブラフチャージをした。
19	6月18日	標津	川北地区	川北農村公園付近から道道を横断し、パークゴルフ場脇を通り、シュラ川へと下っていった。
20	7月9日	標津	川北地区	パークゴルフ場側から道道を横断し、川北農村公園に侵入。追い払いを実施し、個体は市街地より逃げていった。